

用ゐた威眞なる語の威即ち *ham, gam* は驛傳の義で、*ham, gam* より一轉して元代の所謂 *yam* となり、更に轉じて *djam* となり、漢人は之を站 (*cham*) で寫したもので、恐らく威は此の語の最も古き形を傳へたものであらうと論じられ、更にその語原に就いては *Bretschneider* の述べた所を参考せられて、蒙古語に道路を *yam, zam, zam* 等といへば、*djam* は此等の言と同語にて、原義は道路・道程のことならんと述べて居られる、ウイグル語をはじめその他のトルコ語でも、驛のことを *yam* といふが、此の *yam* には蒙古語に於けると同様に、驛の外に道の義も存して居る、^① 托跋語の *ham, gam* にも同じく此の義があつたかどうかは固より知り難いが、既に *ham, gam* \searrow *yam* \searrow *jam* の轉訛を認むる以上、必ずまた之が存したことと思ふ、かくて今の所托跋語に發したと思はるゝ *ham, gam* はトルコ語に入つて *yam* となり、更に之が蒙古に入つて、初めはそのまゝ *yam* の形で行はれ (*Marco Polo* の寫して居る如く)、遂に *jam* となつたものであらう、もし契丹女眞の方面から傳はつたものとするれば女眞語・滿洲語・ダフル語等に見える葛蠻 *giyamun, gamin* の語形を傳ふべき筈である。

一體今の蒙古語中、トルコ語と對比せらるべき言葉で、*j* (*dj, z*) なる頭音を有して居るものは、古くは皆 *y* 音であつたに違ひなく文字も同一なるウイグルの *y* 字を用ひて居る、^② 此の變化は既に祕史の蒙古語にも少からず現はれて居る、今二三の例を擧げて見るならば、

トルコ語の *yil* (年) が

祕史に只勒 (*Jil*)

トルコ語の *yasa, yasaq* (法令) が

祕史に札撒 (*Jasaq, jasa*)

トルコ語の *yarliq* (勅命) が

祕史に札兒里 (*Jarliq*)